

文在寅政権の成果と課題

——第20代大統領選挙を見据えて

I 文在寅政権下の韓国を考えるための視点

- 1) 97年体制
- 2) 親盧・親文
- 3) ろうそくデモ

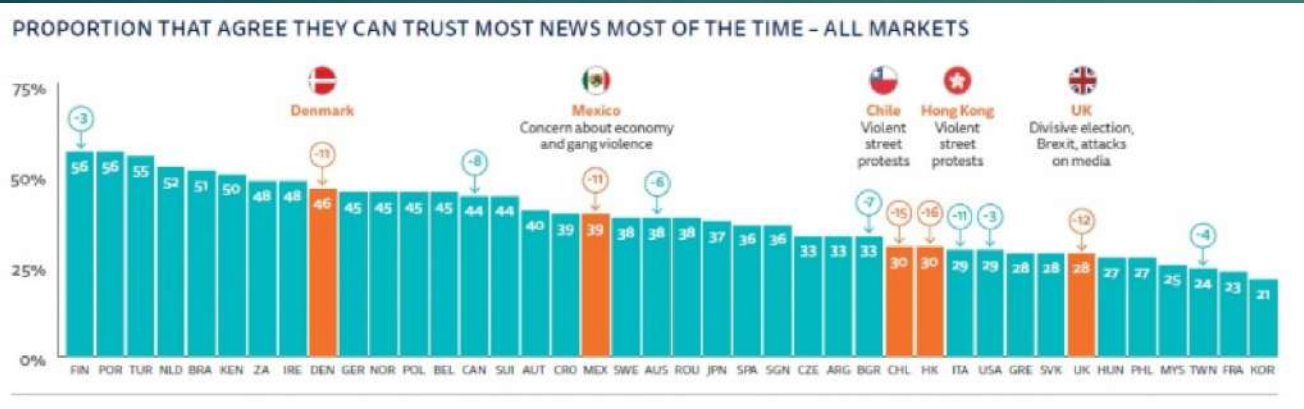
II 改革の明暗

- 1) 積弊清算
- 2) 経済民主化
- 3) 日韓関係
- 4) 朝鮮半島平和プロセス

III 大統領選挙の動向



日韓合計特殊出生率



The Reuters Institute Digital News Report 2020

I 文在寅政権下の韓国を考えるための視点

1) 97年体制

* 民主化以後の労働運動の組織化、労使間の力関係の変化

7, 8月労働者大闘争 + 三低景気

「マンション、家電製品、自動車をワンセットとする外形上の西欧的生活様式が韓国の中間層家庭の標準的な消費スタイル」の確立（兪チョルギユ）

* グローバルな競争国家（Hirsch）への転換

90年代の自由化圧力 → 金泳三政権グローバルな競争国家への転換

「国民的」工業の保護・育成ではなく「選別されたセクターのグローバルな競争力の確保」、

「企業の投資行動を対象とする「供給政策」と結びついた市場の自由化」

: 競争国家への最後の関門 → リストラ（整理解雇）上昇した賃金コストの削減

→ 1996年12月26日労働関係法、抜き打ち採択 → ゼネスト → 97年1月21日撤回

97年11月金融通貨危機 → 11月21日IMFに救済金融申請

12月18日 金大中当選 12月24日 IMFとの第2次協約書 整理解雇制含む

1月6日金大中・金泳三、整理解雇制の実施を訴える共同声明

1月14日 労使政委員会 20日妥結 2月25日 金大中政権スタート

: 「競争国家」化 : 新自由主義的経済官僚（モフィア）が主導、進歩派も合意

今日の「新しい危機の時代」の出発点

年	賃金指数	製造業	(81=100)
1981	34.0	173,869	100
1985	50.9	258,332	148.6
1988	72.4	390,030	224.3
1990	100.0	563,246	323.9
1995	193.9	1,122,603	645.7

2) 親盧・親文

* 386中心の運動圏（民主化運動世代）の分化

： 民主労総： 労使政委員会の離脱（「第3の道」拒否）、
独自の政治勢力化、**民主労働党→正義党**

： 市民運動勢力： 市場経済の枠組みでの企業・行政への異議申立て・監視
行政との協治（ガバナンス）を前提にコミュニティの再建

： 金大中・盧武鉉（進歩政権）に合流

* 進歩政権の基盤（湖南＋親盧・運動圏＋中道） **韓国版の「第三の道」**（民主主義と市場経済の両立）

財閥資本の国際競争力強化： 市民運動勢力との協働・協治追及（民主主義・人権・平和）

国民基礎生活保障法（経済官僚との対立、自活センター）

英国ブレア政権： 公共サービスでの官民連携（Public-Private Partnership）

保守： 既得権勢力？

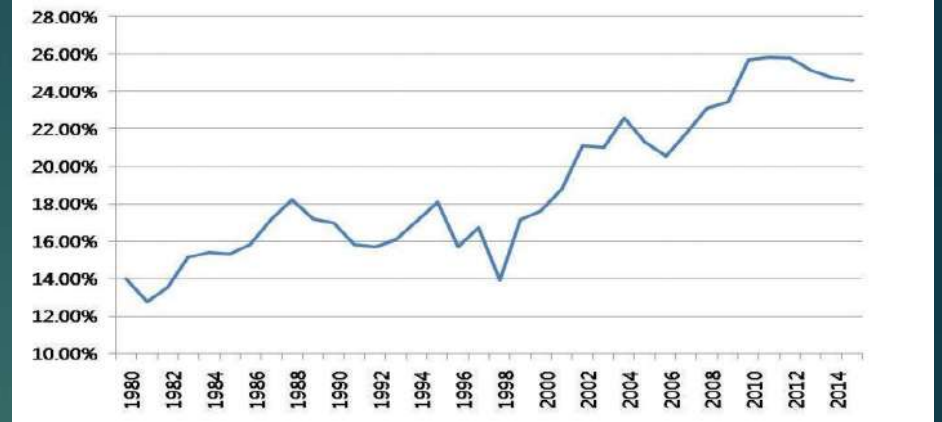
安全保障： 韓米同盟に依存、南北対話・共存の推進、

日韓関係： 90年代の達成（村山談話・98年日韓共同宣言）の維持

* 親盧・運動圏のこの間の軌跡

ウリ党（2004年）→ウリ党の挫折→盧武鉉の死（2009年）→親盧派の再結集

第18代大統領選挙（2012年）の敗北→対立と分裂→親盧政党「共に民主党」結成（16年）第一党に



3) ろうそくデモ

* **脱中心・脱権威の群がり (swarming) 型の運動** : マルチチュード (多衆)
複雑系の科学が言う、「創発」

: **多様な動機と指向性**

- ; セウォル号、白南基、江南駅10番出口、不条理な死 (弔いの政治)
- ; 主権在民という観点からの国政壟断への反発
- ; 入試や就職での不正や不公正への反発 (鄭ユラの不正入試)
- ; フェミニスト、LGBT、「国定教科書」「日韓合意」批判.....

* **政権交代の条件**

- ; 伝統的メディア (朝鮮日報・JTBC・ハンギョレ) の特ダネ報道
+ SNSの水平的な情報拡散 → ろうそくデモ
- ; **受け皿としての親盧勢力の存在**
- ; 権力ブロックの亀裂 (『朝鮮日報』、与党内の非朴・中道勢力の離反)

* **ポスト・ろうそくデモの社会** : 公正と正義への衝動の横溢

* 矛先は進歩勢力にも : 労働・環境 (原発) ・ジェンダー

II 改革の明暗

1) 積弊清算（政治社会の改革）

機関	積弊清算TF推進状況	
国情院	6月19日 国情院改革発展委員会傘下に積弊清算TF発足	2012年大統領選挙テックル事件など 7 大国情院政治介入の調査
統一部	7月～8月 朴政権政策評価TF運営	開城工団中断など前政府の対北政策検証
外交部	7月31日 慰安婦検討TF発足	2015年末の日韓慰安婦合意のプロセスと内容の検討
文化観光 体育部	7月31日 ブラックリスト調査委発足	ブラックリストの真相調査、 再発防止のための制度改善
法務部	8月9日 法務部・検察改革委発足	法務部の脱検察化、検察改革、前官礼遇根絶など
雇用部	11月1日 雇用労働改革委員会発足	全教組や全国公務員労組の法外労組処分など 労働行政などの検証
教育部	9月25日 歴史教科書国定化真相調査委発足	教科書国定化過程での国情院などによる 世論操作などを検証
国防部	9月7日 サイバー司令部テックル事件再調査TF 9月14日 軍積弊清算委	2012年大統領選挙時のテックルによる選挙介入調査 李明博政権期の国軍機務司令部による民間人査察事件の再調査

青瓦台（民情首席）・国情院・法務部・検察・機務司・法院・保守言論・財閥の権力ネットワークの解体と再編

- ： 検察改革をめぐる曲折 **法務部の脱検察化（検察への政治介入の抑制） 察捜査権の制限と警察への移譲**
 検察幹部に対する捜査・起訴権をもつ高位公職者犯罪捜査処（**公捜処**）の設立
 尹錫悦検察総長との確執→「曹國事態」秋美愛との確執：政権イメージの失墜
- ： 言論改革→懲罰的損害賠償法案×
- ： 選挙制度改革→準連動型比例代表制の導入（少数政党の進出）保守野党の抵抗×

： 民主的価値の社会的合意（光州民主化運動：金大中・盧武鉉）

第21代総選挙結果（2020年4月）

保守勢力：極右勢力（プロテスタント右派・太極旗部隊）衰退
：合理的（中道）保守：保守勢力内で主導権

進歩勢力：86世代の既得権層化：
相次ぐ進歩派知事のスキャンダル→2030の支持率低下
コロナ対策：K・防疫の明暗

2) 経済民主化：不動産問題での躓き

「所得主導政策」：最低賃金の引上げ、「公共部門非正規職ゼロ」

「公正経済」：財閥ガバナンスの改善、「低成果者解雇制」の廃棄

「革新経済」：グリーン・デジタルニューディール、
規制緩和や税額控除の拡大

： 包容経済（所得主導・公正）

→「革新経済」への経済政策の重点の移行（「右クリック」？）

国務副総理兼企画財政部長官 金東兗→洪楠基

金尚組（財閥の死神→公正取引委員会委員長

→大統領秘書室政策室長）の変貌

： 不動産問題での躓き

党派	地域区		比例代表	
	得票率	議席数	得票率	議席数
共に民主党	49.9%	163	-	-
(共に市民党)	-	-	33%	17
未来統合党	41.5%	84	-	-
(未来韓国党)	-	-	34%	19
正義党	1.7%	1	10%	5
国民の党	-	-	7%	3
開かれた民主党	-	-	5%	3
無所属	3.9%	5	-	-

ソウル面積別マンション売買平均価格



3) 日韓関係：歴史認識をめぐる相克

98年日韓パートナーシップ共同宣言（植民地支配の道義的責任の確認）

安倍政権下の日本社会（歴史修正主義の主流化）

⇔ポストろうそく革命の市民社会（法的責任の確認の要求）

徴用工判決支持

→文在寅の「当惑」（日本への宥和的な姿勢：米国新政権へのアピール）

最重要戦略課題：朝鮮半島平和プロセスの再起動

4) 朝鮮半島平和プロセスの停滞：文在寅「新ベルリン宣言」（2017年7月）

→火星15号による局面転換→南北板門店会談（18年4月）

→シンガポール米朝首脳会談（新しい米朝関係、平和協定、朝鮮半島の非核化）6月

→ハノイノーディール（19年2月）

：バイデン政権の対北朝鮮政策

4月30日 対北朝鮮政策見直し：

3月28日 バイデン上下両院演説：外交と嚴重な抑止（人権問題に言及）

◎「戦略的忍耐（strategic patience）」でも「一括取引（grand bargain）」でもない「第3の道」

◎シンガポール合意の継承 実用的アプローチ・段階的アプローチ・

民族主義統一観（2017～2020）

出所：『KINU 통일 의식 조사 2020: 주변국 인식 비교 연구』

民族主義統一観の世代別比較

	2017	2018	2019.4	2019.9	2020
民族主義統一観	31.7	32.4	28.8	28.1	26.3
脱民族主義統一観	46.0	48.6	49.5	50.7	54.9

	50年代以前 朝鮮戦争世代	51～60 産業化世代	61～70 386世代	71～80 X世代	81～90 IMF世代	91～2002 ミレニアル世代
民族主義統一観	27.8	33.7	26.5	24.0	17.4	23.7
脱民族主義統一観	40.0	35.3	51.6	47.4	50.9	53.8

Ⅲ 大統領選挙をめぐる動向

：文在寅大統領の支持率推移 李に重荷？

：4月補欠選挙での惨敗
呉世勲 (57.5%)

：国民の力党代表に李俊錫(6月)
85年生まれハーバード・ベンチャー企業
26歳でセヌリ党の非常対策委員
選挙人団41% 世論調査59%



국민의힘 당대표

(6월 7~10일 당원 70% 일반 국민 30% 투표)

총 득표율 43.82%

이준석

프로필

출생 1985년(만 36세) 서울

학력 서울과학고등학교
하버드대 경제학, 컴퓨터과학

경력 한나라당 비대위원(2011)
새누리당 혁신위원회 위원장(2014)
바른미래당 최고위원(2018)
미래통합당 최고위원(2020)

후보	득표율	득표수
이준석	43.82%	2,798,788표
나경원	37.14%	2,398,123표
주호영	14.02%	912,456표
조경태	2.91%	187,654표
홍문표	1.90%	123,456표

4·7 재·보궐선거 서울시장 투표결과

오세훈

57.50%
2,798,788표

당선

박형준

39.18%
1,907,336표

4·7 재·보궐선거 부산시장 투표결과

박형준

62.67%
961,576표

당선

김영준

34.42%
528,135표



：各党大統領候補の選出

共に民主党（10月）李在明**50.3** 李 洛淵**39.1**
 国民の力（11月）尹錫悦**47.9** 洪準杓**41.5%**

主な大統領候補 ‘



：李俊錫・尹錫悦の確執と調整

金鍾仁、総括選対委員長に就任(12月6日)

經濟民主化の理論家、

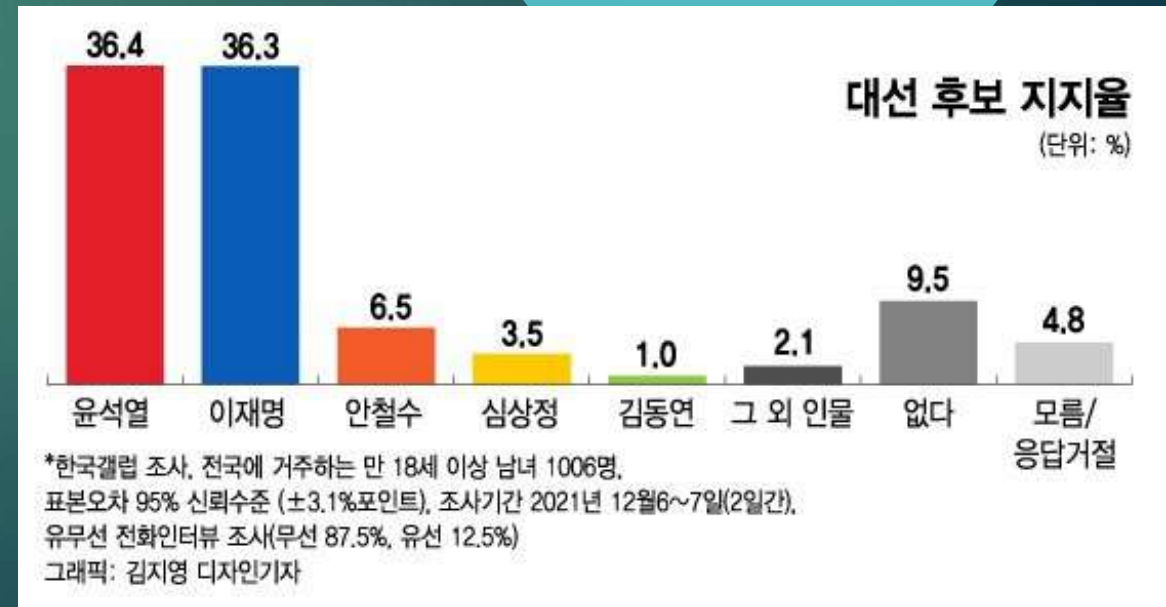
04年 4月には新千年民主党議員

12年、朴槿惠大統領候補の經濟民主化プランに携わる

16年、民主党の非常対策委員長、選挙の勝利に貢献、

20年、保守野党の非常対策委員長「B・I」打ち出す
 補欠選挙での勝利に貢献

各候補支持率（韓国ギャラップ12月6-7日調査）



大統領選挙への3つ視点

1) 非好感・非主流競争:

: 両候補とも国会議員の経験なし : 非好感度 李(59.5) 尹(56.1) 11月5-7日調査

李: 大庄洞再開発事業 尹: 告発使喚: 夫人・義母 疑惑

機関信頼度(不信): 国会78.9、裁判所58.9、検察63.7、警察53.6、地方自治体42.9、公企業48.3、軍48.5

『2020社会統合実態調査』韓国行政研究院

2) MZ世代(1980年代~2000年生まれ)の動向

ろうそく革命の主力、17年第19代大統領選挙、18年統一地方選挙、20年総選挙で民主党支持
不動産、내←romance 남不、への怒り→21年の4月のソウル知事選、6月李俊錫代表当選

大統領選挙での投票未確定: 20代69.4%:30代68.3%

20代男子現象(2대남)

3) 第3地帯候補の動向 (候補一本化問題)

沈相奵(正義党) 安哲秀(国民の党)

金東兗(新しい波) 孫鶴圭

